令和８年度行政書士試験　解答速報

令和8年　11月8日　17:30更新

※以下の解答はユーキャンの作成によるものです。また、以下の解答は、予告なく変更する場合もあります。

問題１・２（基礎法学）							
問題１		問題２					
問題３～７（憲法）							
問題３		問題４		問題５		問題６	
問題７							
問題８～２６（行政法）							
問題８		問題９		問題１０		問題１１	
問題１２		問題１３		問題１４		問題１５	
問題１６		問題１７		問題１８		問題１９	
問題２０		問題２１		問題２２		問題２３	
問題２４		問題２５		問題２６			
問題２７～３５（民法）							
問題２７		問題２８		問題２９		問題３０	
問題３１		問題３２		問題３３		問題３４	
問題３５							
問題３６～４０（商法）							
問題３６		問題３７		問題３８		問題３９	
問題４０							

問題４１～４３（多肢選択式）								
問題４１	ア	13	イ	18	ウ	19	エ	9
問題４２	ア	16	イ	2	ウ	9	エ	11
問題４３	ア	2	イ	10	ウ	14	エ	19

問題４４～４６（記述式）	
問題４４	開催予定日が経過したという事実に基づき、訴えの利益の消滅を理由として、却下判決を下す。（44字）
問題４５	<解答例1> 目的物が特定された時であり、Bが目的物を分離し、Aに通知し、受領を催告した時である。（43字） <解答例2> ・目的物が特定された時であり、Bが物の給付をするのに必要な行為を完了した時である。（42字）
問題４６	併存的債務引受と呼び、AがCに承諾の意思表示をすると、BCはAに対して連帯債務を負う。

問題４７～６０（基礎知識）							
問題４７		問題４８		問題４９		問題５０	
問題５１		問題５２		問題５３		問題５４	
問題５５		問題５６		問題５７		問題５８	
問題５９		問題６０					

生涯学習のユーキャン